

人文學報

CX

京都大學
人文科學研究所

2017

人 文 学 報

110

京都大学人文科学研究所

2017年7月

目 次

第一次世界大戦の終結と朝鮮独立運動 ……………	小 野 容 照	1
—— 民族「自決」と民族「改造」——		
親鸞とハイデガーとの「対話」 ……………	マルクス・リュウシュ	23
——「自然」の概念を巡って——		
多木浩二における「空間」 ……………	篠 原 雅 武	47
—— 篠原一男の建築空間との対決をめぐる ——		
美学者中井宗太郎の渡欧体験（1922～23） ……………	山 本 真 紗 子	71
—— 京都市立芸術大学芸術資料館所蔵中井宗太郎資料を中心に ——		
日本型能率論勃興期における思想史的文脈 ……………	川 合 大 輔	93
ケーララ州のヒンドゥー寺院司祭・タントリ ……………	手 嶋 英 貴	121
—— その職務と家系、ヴェーダ伝承との関わり ——		
小特集 アジア経済史の諸相		
1920年代日本綿業の展開と三輪常次郎 ……………	橋 口 勝 利	153
—— 第10次操業短縮実施をめぐる ——		
1930年代前半の日本綿製品の対イギリス領インド輸出をめぐる論点 ……………	籠 谷 直 人	183
—— 第一次日印会商（1933年9月25日-34年1月5日）の再論 ——		
オランダ領東インドにおける日本人小売商と世界恐慌 ……………	泉 川 普	215
—— スマランの加藤長次郎を事例として ——		
南アジア地域経済圏におけるイースタン・バンクの 「関所資本主義」（1860～90年） ……………	川 村 朋 貴	253

小特集 Echoes of Elvis ——グローバル・アイコンの軌跡

プレスリーの声の浸透と、日本の身体文化におけるその変容 …… 佐藤 良明 287

メンフィス英雄神話 …… エドマンド・ウォーレン・ペリー・Jr. 311

——リアル・ロックンローラー，文化的オブセッション，
歴史的ナラティブ内部の元型的モチーフ——

世界のキング …… ターニャ・ヤング 345

——翻訳されゆくエルヴィス・イメージ——

書評小特集 市田良彦・王寺賢太編『現代思想と政治 ——資本主義・精神分析・哲学』

思想と六八年・思想と現在 …… 檜垣立哉 366

政治の固有性をめぐって …… 森川輝一 371

「原因になる力」を求めて …… 鵜飼哲 377

水野直樹教授 略歴・著作目録 …… 387

彙報（2016年4月～2017年3月） …… 401

『人文学報』投稿規定

1. 『人文学報』は、京都大学人文科学研究所が原則として年1回6月に刊行する学術誌で、人文科学諸領域に関する論文、資料紹介、書評などを掲載する。投稿原稿は原則として日本語で書かれ、日本語で初めて公開されるものとする。
2. 本誌に投稿する資格を持つのは、共同研究班員や受け入れ研究者を含め、京都大学人文科学研究所に制度的に所属する者、および所属した者とする。ただし、編集委員会が適切と判断した場合には、これら以外の執筆者からの投稿も可とすることがある。
3. 投稿原稿の掲載の可否は、編集委員会が指名した専門家による査読にもとづいて、編集委員会が責任をもって最終判断する。編集委員会は、原稿受領後、2ヶ月以内に査読結果を投稿者に通知する。投稿論文は、(A)そのまま掲載、(B)修正のうえ掲載、(C)不可のいずれかに判定される。(B)の判定を受けた投稿原稿が、その後1ヶ月以内に編集委員会の要請を満たす加筆修正を行っていないと判断された場合は、掲載不可となることがある。
4. 投稿希望者は、5月末までに、仮タイトルと400字程度の要旨を編集委員会に提出する。投稿メ切りは8月末日とする。投稿原稿は、『人文学報』編集委員会宛に送付する。とくに枚数の制限を設けないが、論文は12,000～48,000字、書評は4,000～8,000字を目安とする。ただし、他の掲載論文との関係から調整を求めたり、制作実費を申し受ける場合がある。
5. 他雑誌への二重投稿についてはこれを禁ずる。
6. 原稿執筆にあたって、投稿者は後述の『『人文学報』執筆要領』にしたがう。
7. 図版、写真などを掲載する場合は、投稿者の責任において、あらかじめ著作権者から許諾を受けるものとする。
8. 投稿者は、最終原稿の①テキストファイルないしワープロソフトによる文書ファイル、②PDFファイル、③A4の用紙に印刷されたハードコピー3部を編集委員会に提出する。電子データの提出は、電子メールへの添付ないし電子記憶媒体によって行うことができる。
9. 著者による校正は2回とする。
10. 原稿料は支払われない。ただし、著者には本誌1部と抜き刷り50部が無料で提供される。
11. 『人文学報』の掲載原稿について、著者は複製権（電子化する権利）と公衆送信権（公開する権利）に関する許諾を京都大学人文科学研究所に与えたものとする。人文科学研究所は頒布の便を図るために、京都大学学術情報リポジトリを通じて掲載論文等を画像あるいはPDF等の形式で送信することができる。

『人文学報』執筆要領

1. 使用言語は原則日本語とし、原稿はA4サイズ横書きとする。以下は日本語論文を想定した要領である。
2. 論文には、日本語（800字程度）と欧文（200語程度）の要旨を添付し、それぞれキーワードを5つずつ記す。
3. 注は文末注とし、本文とは頁をあらためて作成する。本文中の注番号は字肩に上付きで、1), 2)などと記す。
4. 本文・引用・文末注などの書式は各専門分野の慣行に従うこととし、特に規定しない。
5. 論文はいくつかのセクションに分け、各セクションの見出しにはアラビア数字で番号を付す。
6. 図表や写真の掲載を希望する際は、図表に関してはPDFファイルを、写真に関しては、典拠となる電子データを別途提出する。それぞれに通し番号、表題、出典（該当する場合）を明記し、本文中の挿入箇所を通し番号で指示する。
7. 書評の場合は、対象となる著作の著者名、書名（副題、シリーズ名、巻名も含む）、刊行地、出版社、頁数、定価などを冒頭に記す。
8. 他の言語ですでに発表したものと内容が重なる場合は、冒頭の脚注でその旨明記する。
9. 執筆に関して質問があれば、編集委員会に問い合わせる。

『人文学報』編集委員会の宛先

606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学人文科学研究所『人文学報』編集委員会
電子メール：zinbungakuho@zinbun.kyoto-u.ac.jp

編集委員

石 井 美 保
岩 城 卓 二
王 寺 賢 太
岡 田 暁 生
籠 谷 直 人
菊 地 暁
小 関 隆
高 階 絵里加
立 木 康 介
藤 原 辰 史
森 本 淳 生

人文学報 第110号

(京都大学人文科学研究所紀要 第182冊)

2017年7月25日 印刷
2017年7月31日 発行 非 売 品

発行所 京都大学人文科学研究所
京都市左京区吉田本町

印刷所 明文舎印刷株式会社
印刷者 中 村 仁
京都市南区吉祥院池ノ内町10

THE ZINBUN GAKUHŌ

JOURNAL OF HUMANITIES

Vol. 110

JULY 2017

CONTENTS

- The End of the First World War and the Korean Independence
Movement : Koreans' Reaction to the Principle of Self-Determination..... Y. Ono
- A "dialogue" between Shinran and Heidegger: Concerning the notion of "jinen" R. Markus
- "Space" in Taki Koji — On his confrontation with the architectural
space of Kazuo Shinohara M. Shinohara
- Nakai Sotaro's research year in Europe (1922-1923) — A Study of the Nakai Sotaro
materials collection at the Art Museum of Kyoto City University of Arts M. Yamamoto
- The context of intellectual history on Japanese efficiency theory's prevalent period D. Kawai
- A Study of the Keralan High-Class Priests "Tantris" Their Duties and
Relation to the Vedic Tradition H. Teshima
- Special Issue : Various Aspects of Asian Economic History**
- The development of the Japanese cotton industry in 1920s and Miwa Tsunejiro
— Focusing on the 10th reduction in operation K. Hashiguchi
- The Export of Japanese Cotton Textiles into British India and Indian
Merchants in Kobe of the 1930s: Reconsidering about the first
Political Indo-Japanese Cotton Textiles negotiation in 1933 and 1934 N. Kagotani
- The Japanese shopkeepers in Netherland East Indie under the Great Depression
— the case study of KATO Chojiro in Semarang — H. Izumikawa
- "Gateway Capitalism" of British Eastern exchange banks in South Asian
regional economy, 1860-90 T. Kawamura
- Special Issue: Echoes of Elvis — The Trajectory of a Global Cultural Icon**
- Reception and Transmutation of the Presley Voice in Japanese Body Culture Y. Sato
- The Memphis Monomyth: The Real Rock and Roller, Cultural Obsession, and
Archetypal Motifs within Historical Narrative E. W. Perry, Jr.
- King of the World: Elvis Images in Translation T. Jung
- Book Review : Yoshihiko ICHIDA and Kenta OHJI (eds.), Contemporary Thought and Politics :
Capitalism, Psychoanalysis, Philosophy, Tokyo, Heibonsha, 2016, 624 pp.**
- Philosophy and the Year 1968, Philosophy and the Present T. Higaki
- What Is Proper to Politics? T. Morikawa
- In Quest of the « Power to be a Cause » S. Ukai

Published

by

THE INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES
KYOTO UNIVERSITY

ISSN 0449-0274